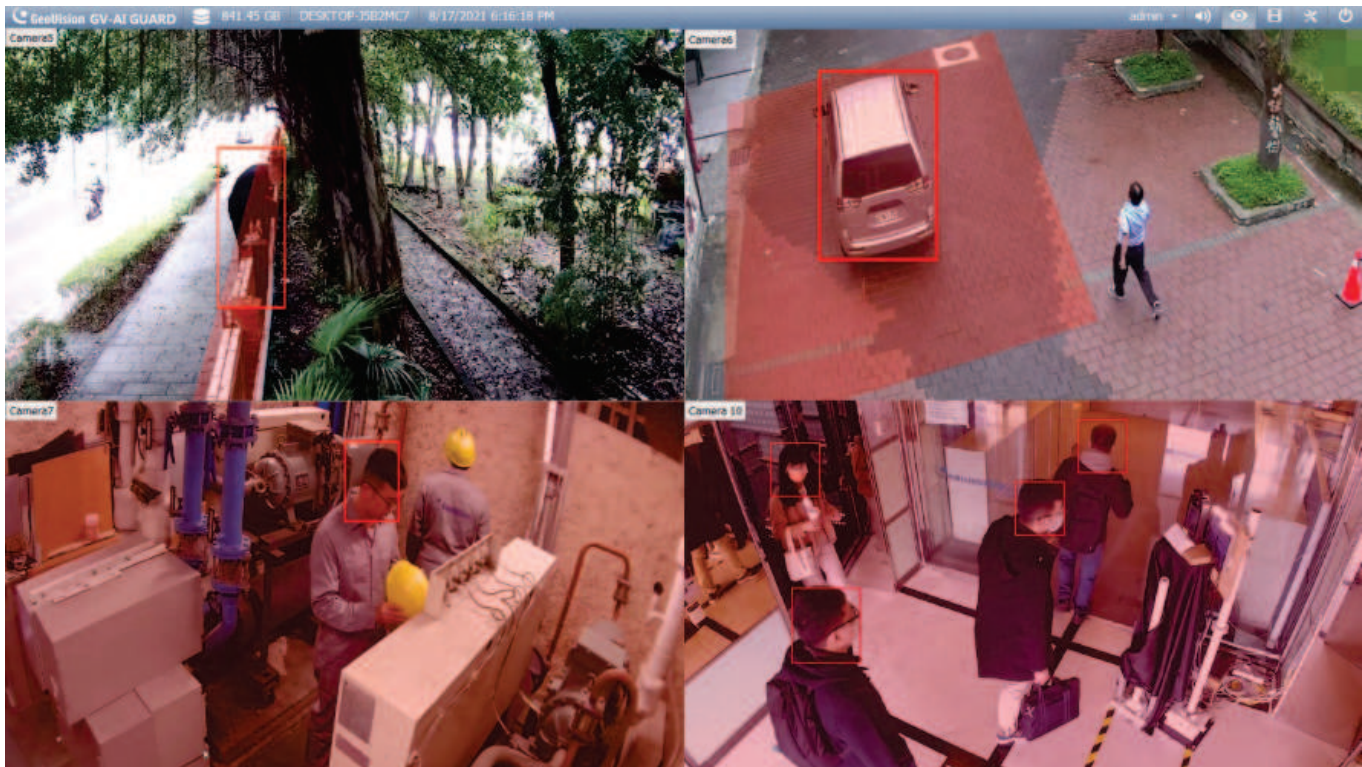


GV-AI Guard



GV-AI Guard Basicは、AI画像解析技術による映像管理ソフトウェアです。

指定した境界線を通る人物や車を検知する「動体検知」、指定した境界線を横断・侵入を検知「横断・侵入検知」、立ち入り禁止のエリアでの滞留を検知する「滞在検知」、工場や工事現場などでヘルメットの着用の有無を検知する「ヘルメット検知」、ウイルスの感染症を防ぐ、マスク着用の有無を検知する「マスク検知」、「ソーシャルディスタンス検知」、「混雑検知」などの機能を備えています。

AI画像解析技術により、特定の状況を識別し、人や車の「侵入・横断」時に発報し、管理者に潜在的な問題を即時通知することができます。GV-AI Guard Basicは、施設・道路や工事現場の安全を守り、更には新型コロナウイルス感染症から皆様の健康を守る最適な製品です。

主な特徴

- AI画像解析用のカメラ16台に対応
- 指定した境界線を通る人物や車を検知する「動体検知」
- 人や車が指定した境界線を通る時に通知することができる「侵入検知」
- 立ち入り禁止のエリアでの滞留を検知する「滞在検知」
- 人と人の距離を測定し、密発生時に通知することができる「ソーシャルディスタンス検知」
- 工場や工事現場などでヘルメットを着用していない時に通知することができる「ヘルメット検知」
- マスクを着用していない時に通知することができる「マスク検知」
- 人や車の過密状態を検知する「混雑検知」
- イベントアラート：アラーム出力、メール通知、コンピューターノイズアラーム
- AIイベント時のライブ映像ポップアップ
- AIイベントによる検索に対応
- AIイベントの検知スケジュール
- AIイベント発生時にGV-Center V2 / GV-Vital Sign Monitor (V18.3.0)の死活監視に対応
- AIイベント発生時にGV-Cloud (V1.0)とGV-Cloud モバイルアプリ (V1.0) の即時通知に対応

**注: GV-AI GuardからGV-CloudやGV-Cloud モバイルアプリへのAIイベント統合は開発中です。
近日中にリリース予定。**

最小システム要件

OS	64-bit	Windows 10 / Server 2016 / Server 2019
CPU		Intel Core i7-8700 プロセッサ以上
メモリー		16 GB (8 GB x 2)
グラフィックカード		Intel UHD Graphics 630, 26.20.100.7262 (9/25/2019)以降

注:

1. AI画像解析には、第8世代インテルCore i7/i9以上のグラフィックプロセッサの利用が必要になります。(モニターがPCに接続されている場合のみ)
2. GV-AI Guardは、Intel Coreプロセッサのみに対応しています。他のブランドのCPUには対応していません。
3. GV-AI Guardは仮想マシンのインストールに対応していません。
4. システムの効率性を向上するため、少なくとも7200RPM以上、平均R/W速度が110MB/s以上をお勧めします。デスクトップレベルのハードディスクを使用すると、システムの効率に影響を与える可能性がありますので使用しないでください。
5. 魚眼補正機能を使用する場合は、DirectX 10.1以上に対応のグラフィックスカードが必要です。
6. 本システム要件はリモート接続と画像解析を無効にした状態で、24時間録画の設定(ライブビューのみ)で定義されております。
7. H.265のデコードと顔画像での顔認識イベントの検索には、オンボードGPUを搭載する第6世代Intelデスクトッププロセッサ (Skylake) 以降が必要です。

ライセンス

GV-AI Guard Basicバージョンは有料ソフトウェアです。

ソフトウェアの起動には、1チャンネル以上のAI分析を備えたGV-USB dongleの使用が必要になります。

ライセンスタイプ	1. AI分析：16チャンネル 2. 録画：32チャンネル 3. 他社製IPデバイス：32チャンネル
各ライセンスの増分	1チャンネル
dongleタイプ	外付けタイプと内蔵タイプ

注: GV-USB dongleには、2つのタイプ「内蔵dongle」と「外付けdongle」があります。

Windows がクラッシュまたはフリーズしたときに PC を再起動するハードウェアウォッチドッグを使用するには、内蔵 dongleを使用することをお勧めします。

オプション ライセンス

オプションの組み合わせ	1. GV-AI Guard + GV-POS S/W Capture (4台のシリアルPOSおよび32台のネットワークPOSデバイスを選択可能) 2. GV-AI Guard + GV-POS Text Sender (1、2、4、8、12、32ポートから選択可能)
-------------	---

仕様

ビデオ解像度	1チャンネルあたり最大12メガピクセル
ビデオコーデック	H.264, H.265
フレームレート	キーフレーム(各チャンネルを1秒に1回検出)
AI分析チャンネル	最大16チャンネル
録画チャンネル	最大32チャンネル
検出対象	人 / 車両(自動車、バス、トラック、自転車、バイク)
最大検出数	<ul style="list-style-type: none"> ● 人・車両動体検知、滞在検知、侵入検知、ソーシャルディスタンス検知、混雑検知：1チャンネルあたり30件 ● マスク検知、ヘルメット検知：1チャンネルあたり10件
イベント通知	アラーム出力、メール通知、パソコンのノイズアラーム
言語	英語、繁体字中国語、日本語

注: 仕様は予告なく変更される場合があります。

GPUデコーディング仕様

GPU(Graphics Processing Unit)デコードは、CPUの負荷を下げ、システムがサポートするトータルフレームレートを向上させることができます。

GV-AI Guardは、インテルのオンボードGPUのみに対応しています：第8-12世代インテル Core i7 デスクトップ・プロセッサ。

オプション

オプションデバイス	詳細
GV-IO Boxシリーズ	GV-IO ボックスシリーズ (4ポート / 8ポート / 16ポート) は、それぞれ4点/8点/16点のセンサー機器 入力とリレー出力を備えており、DC出力電圧とAC 出力電圧両方に対応します。オプションでイーサネットモジュールと4E に対応し、さらに PoE、TCP / IP およびRS-485 接続にも対応します。
GV-Joystick V2	GV-Joystick V2によりGVシステムに接続されているPTZカメラを直感的に操作することが可能となります。GVシステムに接続して単独またはGV-Keyboarにの接続で使用することも可能です。操作性を向上させることができます。